

キリストのからだとしての召会のビジョン、実行、建造

(土曜日——夜の部)

メッセージ 9

キリストのからだとしての召会の建造 (3)

命の成長による有機的な建造、神と人とのミングリングによる有機的な建造、

主は勝利者がからだを顧慮し、からだを建造することを必要とする

聖書：コロサイ 2:19. エペソ 3:17 前半. 4:4-6, 12-16. 啓 12:11

- I. キリストのからだとしての召会の有機的な建造は、命の成長、すなわち、すべての肢体の内側で三一の神が増し加わることによります。そしてすべての肢体はすべての事なかしらであるキリストの中へと成長し込みます——コロサイ 2:19. エペソ 4:12-16 :
- A. キリストのからだは神の召会であり、有機体であって、人の組織ではありません——ヨハネ 15:1-5 :
1. 主は召会を有機的に建造することを願っています。なぜなら、召会はキリストの有機的なからだであるからです——I コリント 1:2. 12:12-13. エペソ 1:22-23。
 2. キリストのからだとしての召会是有機体であり、有機体としてのからだの建造は、からだの有機的な成長です。
 3. キリストのからだとしての召会の有機的な建造は、実は成長することです。召会の建造は、信者たちの命における成長によります——4:15-16. I コリント 3:6-7, 9。
 4. わたしたちがどれほど有機的な建造を経験したかは、わたしたちがどれほど命における成長を持ったかにかかっています——エペソ 4:16。
- B. からだの成長は、かしらとしてのキリストから出て来るものにかかっています——15-16 節 :
1. からだは、かしらに結び付くことによって供給されるとき、神の増し加わりによって成長します——コロサイ 2:19。
 2. からだはかしらから成長します。なぜなら、すべての供給はかしらから来るからです——エペソ 4:15。
- C. からだの成長は、わたしたちの内側での神の増し加わり、神が加えられること、神の増加にかかっています——コロサイ 2:19 :
1. 神は、主観的にご自身をわたしたちに与えることによって成長させます。
 2. 神はわたしたちの中へと加えられれば加えられるほど、ますますわたしたちを成長させます。これが、神が成長させる方法です——I コリント 3:6-7。
 3. 神だけが成長させることができます。神だけがご自身をわたしたちに与えることができます。神がおられないなら、わたしたちは成長を持つことはできません——6-7 節 :
- a. 神がわたしたちの中へと加えられることは、神が与える成長です。
 - b. 神がわたしたちに成長を与えることは、実は神がわたしたちにご自身を与えることを意味します——ローマ 8:11。
- D. エペソ第 4 章 16 節が啓示しているのは、からだ全体がからだを成長させるという

ことです：

1. これは、からだがそれ自身によって成長することを意味します。からだがかからだを成長させるのです。
2. キリストのからだは、供給する節々と活動する各部分によって、それ自身を成長させます。
3. キリストのからだの成長は、召会におけるキリストの増し加わりであり、その結果、からだ自身によってからだが建造されます。
4. からだの成長は、「愛の中でそれ自身を建て上げるに至る」ことです——エペソ 4:16：

- a. これはわたしたち自身の愛ではなく、キリストにある神の愛です。それはわたしたちの中でキリストの愛となります。その愛によってわたしたちはキリストと、彼のからだの肢体仲間を愛します—— I ヨハネ 4:7-8, 10-12, 16, 19。
- b. 愛は神の内なる実質です。エペソ人への手紙の目標は、わたしたちを神の内なる実質の中へともたらし、わたしたちが神聖な愛の甘さの中で神を享受し、神の臨在を享受して、それによってキリストが愛したように他の人を愛することです—— 1:4. 2:4. 3:17 後半, 19 前半. 4:15-16. 5:1, 25. 6:24。

II. キリストのからだとしての召会の建造は、神と人とのミングリングによります——エペソ 3:17 前半. 4:4-6, 12, 16：

- A. 建造の真の意義とは、神がご自身を人の中へと建造し込み、人をご自身の中へと建造し込むということです。これが神と人とのミングリングです—— 2:21-22。
- B. 神の建造の原則とは、神がご自身をわたしたちの中へと建造し込み、わたしたちをご自身の中へと建造し込むということです—— 3:17 前半. 4:15-16。
- C. 神と人とのミングリングとは、神性の要素と人性の要素との内在的な結合であり、一つの有機的な実体を形成するが、その結合においてそれぞれの要素が区別されたままであるということです——ルカ 1:35, フットノート 2。
- D. 神の目的は、ご自身をわたしたちとミングリングし、彼をわたしたちの命、性質、内容とならせ、わたしたちを彼の団体の表現とならせることです——ヨハネ 14:20. 15:4-5. エペソ 3:16-21. 4:4-6, 16：

1. 神のみこころは、神と人とのミングリングです。神の永遠の定められた御旨の成就是神性と人性とのミングリングにかかっています—— 1:5, 9. 3:11。
2. 主イエス・キリストは、神と人とのミングリングです——ルカ 1:31-35。
3. クリスマン生活は、神性と人性とのミングリングです。クリスマンとなることは、神とミングリングされること、すなわち、神・人となることを意味します—— II テモテ 3:17。

E. キリストのからだは、キリストの拡大、すなわち、神と人とのミングリングである方の拡大です——エペソ 1:22-23. 4:4-6, 16：

1. 召会は、神・人であるキリストの拡大であり、キリストは神と人とのミングリングです——ルカ 1:35. ヨハネ 1:14. 12:24。
2. 召会は、神が人とミングリングされ、人が神とミングリングされるという原則の拡大です。この拡大の結果、キリストのからだを生み出します——エペソ 3:17

前半. 4:4-6。

3. 福音書において、神と人とのミングリングは、かしらを生み出しました。使徒行伝において、神と人とのミングリングの拡大は、キリストのからだを生み出しました——エペソ 1:22-23. 4:15-16。

F. キリストのからだは有機体であり、霊の中に住むその霊としての三一の神を持つ人々から成っています。その霊としての神がわたしたちの再生された霊の中に内住することは、神とわたしたちとのミングリングです——II テモテ 4:22. ローマ 8:16. I コリント 6:17。

G. キリストのからだとしての召会は、一群れの人々であり、神に彼らとミングリングしていただき、また神とミングリングされています——エペソ 3:16-21。

III. 主は勝利者がからだを顧慮し、神のエコノミーを完成してキリストのからだとしての召会を建造することを必要とします——エペソ 1:10. 3:9. 4:12, 16. I テモテ 1:4. 啓 12:11 :

A. 勝利者は、キリストのからだを建造して新エルサレムを究極的に完成するためです——エペソ 4:16. 啓 2:7 後半. 3:12。

B. 勝利者がいなければ、キリストのからだは建造されることはできません。またキリストのからだは建造されていないなら、キリストはご自身の花嫁のために戻って来ることにはできません—— 19:7-9。

C. キリストのからだの建造は、キリストの七倍に強化された天の務めによって生み出された勝利者によります——ヘブル 8:1. 啓 5:6。

D. 勝利者は、キリストに敵対するあらゆるものや、キリストに置き換わるあらゆるものに打ち勝ちます—— I ヨハネ 2:18, 22. ピリピ 3:7-11。

E. 勝利者は、バイタルな人となる決意をします——士 5:15. 啓 3:19 後半。

F. 勝利者は、からだを見て、からだを認識し、からだを顧慮します——ローマ 12:4-5. I コリント 12:12, 18, 24 後半-27. エペソ 2:16. 4:4, 16. コロサイ 2:19。

G. 勝利者は、自分の必要を含むあらゆることにまさって神の權益を顧慮する者です——マタイ 6:33。

H. 勝利者は、自分自身を否み、主の要求する代価を払って、主のために、回復のために、からだのために勝利者となる決意をします—— 16:24. 啓 3:18. 12:11. 14:1, 4。